

トピックス

映像IoTシステム「AISION™」を販売

通信市場での長年にわたる映像監視・画像処理・映像配信技術を活かし、映像圧縮化技術と画像センシング技術を利用した映像IoTシステム「AISION（アイシオン）」の販売を開始しました。H.264*符号化形式の映像データを高画質のまま最大約1/10に圧縮できる映像圧縮モジュールと、顔認識や物体認識を行う画像センシングモジュールを「AISION」の中核となる「映像IoT-GW」に搭載しました。ネットワーク経由で複数の拠点をセンター集中管理・分析する映像IoTシステムとして、幅広い分野での業務改革を実現します。

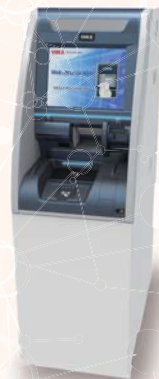
※H.264: ITU-Tで規格化された映像符号化方式



「AISION」の中核となる「映像IoT-GW」

新興国向け戦略ATM「ATM-Recycler G8」を発売

OKIは、海外市場向けに新型紙幣還流型ATM「ATM-Recycler G8」の販売を開始しました。従来機種より12%増の業界最大の紙幣容量(当社調べ)、処理速度の50%向上、設置重量の20%削減などにより稼働率の向上とトータル運用コスト削減を実現します。現金ニーズが高く、今後市場の拡大が見込まれるインドや東南アジアなどの新興国地域をターゲットにした新商品により、メカトロシステム事業のさらなる拡大を図っていきます。



「ATM-Recycler G8」

AI対話エンジン「Ladadie™」を提供開始

人と自然な対話を実現するAI対話エンジン「Ladadie™（ラダディ™）」の提供を開始しました。ユーザー自身では気付かなかった真のニーズを引き出すラダリング技法を用いた対話やキーワードの掘り下げによりFAQを効率的に検索する対話など、性質が異なる対話を同一エンジンで対応することが可能です。

今後、労働集約型の業務を中心にさまざまな顧客接点へ「Ladadie」の適用を拡大し、人材不足の課題を抱える企業の競争力向上に貢献します。

「CEATEC JAPAN 2017」に出展

OKIは「CEATEC JAPAN 2017」に出展し、「繋ぎ続けて創る未来～お客さまとの共創で、次世代社会にさらなる価値を～」をテーマに、社会やビジネスに新たな価値の創造や社会課題の解決に向けたソリューションをステージと展示で紹介しました。また開催初日には、代表取締役会長の川崎秀一が、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)会長として、キーノートスピーチを行いました。



OKIのブース

タイにて環境保護のための植林を10年連続で実施

OKIデータ・マニュファクチャリング・タイランド(ODMT)の社員やタイ環境省の職員など150名が、タイ中部のサラブリー県モアクレック郡で苗木6,000本を植林しました。10年連続10回目となる今回の植林で、48,000平方メートルの緑地を増やす計画です。ODMTでは2008年より「ODMT Green Project」と称した環境保護活動を実施し、これまでに73,918本を植林しています。



植林の様子